

博士問題の成行

夏目漱石

青空文庫

二月二十一日に学位を辞退してから、二カ月前の今日きょうに至るまで、当局者と余よとは何らの交渉もなく打過ぎた。ところが四月十一日に至つて、余は凶はかならずも上田うへだ万年かずとし、芳賀はが矢一やいち二博士から好意的の訪問を受けた。二博士が余の意見を当局に伝えたる結果として、同日午後には、余はまた福原ふくはら専門学務局長の来訪を受けた。局長は余に文部省の意志を告げ、余はまた局長に余の所見を繰返して、相互の見解の相互に異なるを遺憾いかんとする旨を述べ合つて別れた。

翌十二日に至つて、福原局長は文部省の意志を公けにするため、余に左さの書翰を送つた。実は二カ月前に、余が局長に差出した辞

退の申し出に對する返事なのである。

「復啓二月二十一日付を以て学位授与の儀ぎ御辞退相成あいなたき趣御
 申出あいな相成そうろう候ところ 処 已に発令済につき今更いま御辞退の途もこ
 れなく候そうろう間 御了知相成たく大臣の命により別紙学位記御
 返付しつけかたがたこの段 申進もうしすす候敬具」

余もまた余の所見を公けにするため、翌十三日付を以て、下に掲ぐる書面を福原局長に致した。

「拝啓学位辞退の儀は既に発令後の申出にかかゆえる故、小生しょうせいの希望通り取計むねらいかめる旨の御返事りようを領し、再さい応おうの御答を致します。

「小生は学位授与の御通知に接したる故に、辞退の儀を申し出で

たのであります。それより以前に辞退する必要もなく、また辞退する能力もないものと御考えにならん事を希望致します。

「学位令の解釈上、学位は辞退し得べしとの判断を下すべき余地あるにもかかわらず、毫ごうも小生の意志を眼がんちゆう中に置く事なく、一函いちぢずに辞退し得ずと定められたる文部大臣に対し小生は不快の念を抱くものなる事を茲こゝに言明致します。

「文部大臣が文部大臣の意見として、小生を学位あるものと御認めになるのはやむをえぬ事とするも、小生は学位令の解釈上、小生の意思に逆さからつて、御受をする義務を有せざる事を茲に言明致します。

「最後に小生は目下我邦わがくににおける学問文芸の両界に通ずる趨勢

に鑒^{かん}みて、現今の博士制度の功^{こう}少くして弊^{へい}多き事を信ずる一人なる事を茲^{こゝ}に言明致^こします。

「右大臣に御伝えを願います。学位記は再応御手許^{もと}まで御返付致します。敬具」

要するに文部大臣は授与を取り消さぬといい、余は辞退を取り消さぬというだけである。世間が余の辞退を認むるか、または文部大臣の授与を認むるかは、世間の常識と、世間が学位令に向つ^{ほどこ}て施す解釈に依つて極^きまるのである。ただし余は文部省の如何^{いかん}と、世間の如何とにかかわらず、余自身を余の思い通^{どおり}に認むるの自由を有している。

余が進んで文部省に取消を求めざる限り、また文部省が余に意

志の屈くつじゆう従じゆうを強いざる限りは、この問題はこれより以上に纏まとま
 るはずがない。従つて落ち付かざる所に落ち着いて、歳月をこの
 ままに流れて行くかも知れない。解決の出来ぬように解釈された
 一種の事件として統一家、徹底家の心を悩ます例となるかも知ら
 ない。

博士制度は学問奨励の具として、政府から見れば有効に違いな
 い。けれども一国の学者を挙げて悉ことごとく博士たらんがために学問を
 するといふような氣風を養成したり、またはそう思われるほどに
 も極端な傾向を帯びて、学者が行動するのは、国家から見ても弊
 害の多いのは知れている。余は博士制度を破壊しなければならん
 とまでは考えない。しかし博士でなければ学者でないように、世

間を思わせるほど博士に価値を賦与したならば、学問は少数の博士の専有物となつて、僅かな学者的貴族が、学権を掌握し、すに至ると共に、選に洩れたる他は全く一般から閑却されるの結果として、厭うべき弊害の続出せん事を余は切に憂うるものである。余はこの意味において仏蘭西にアカデミーのある事すらも快よく思つておらぬ。

従つて余の博士を辞退したのは徹頭徹尾主義の問題である。この事件の成行を公けにすると共に、余はこの一句だけを最後に付け加えて置く。

——明治四四、四、一五『東京朝日新聞』——

青空文庫情報

底本：「漱石文明論集」岩波文庫、岩波書店

1986（昭和61）年10月16日第1刷発行

1998（平成10）年7月24日第26刷発行

入力：柴田卓治

校正：しず

1999年8月5日公開

2003年10月9日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

W.aozora.gr.jp) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランテイアの皆さんです。

博士問題の成行

夏目漱石

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>